

部活動の
意義

・スポーツや文化、科学等に興味・関心のある同好の生徒が自主的、自発的に参加し、顧問の指導のもと学校教育の一環として教育課程との関連を図り、合理的でかつ効率的・効果的に取り組むことが大切である。

・体力や技能の向上を図る目的以外にも、異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教員等との好ましい人間関係の構築や、学習意欲の向上、自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、生徒の多様な学びの場として教育的意義が大きい。

適切な運営のための体制整備

持続可能な運営体制が整えられるように

◇**教育委員会**は、

「設置する学校に係る部活動の方針」を策定する。

◇**校長**は、

「学校の部活動に係る活動方針」を作成し、ホームページ等で公表する。

◇**顧問**は、

「目標を設定し、効率的・効果的な活動計画」を作成する。

適切な休養日・活動時間の設定

生徒がバランスのとれた生活をおくるために

◇**休養日** **週2日以上**【平日1日と週休日(土・日)のいずれか1日】

※長期休業中にはある程度長期の休業期間を設定

◇**活動時間** 平日 概ね**2時間以内**

週休日等および長期休業日 概ね**3時間以内**

※朝練習は原則**行わない**。

部活動指導員や外部指導者の活用

円滑な部活動が実施できるように

◇**部活動指導員**

部活動の顧問として従事し、指導および校外での活動等の引率を行うことができる。

◇**スポーツエキスパート**

運動部活動の顧問と共に活動しながら、部活動の充実を図る。

生徒の多様な学びの場として

◇**保護者および地域との連携**

部だよりの発行、部参観の実施、地域との交流等により連携を図る。

◇**校外活動**

怪我や事故の防止に努め、事前に活動計画を作成し、校長の許可を得る。

◇**部費等**

適切な会計処理を行うとともに、保護者に対して会計報告を行う。

◇**体罰の防止**

体罰は、生徒の心に深い傷を残し、学校に対する信頼を失墜させるため、根絶に努める。